

2015年3月期 決算説明会Q&A

【2015年3月期 実績】

Q: FY14下期の成長ドライバーとしてキャリアアグリゲーション等、LTE-Advancedの開発需要に期待していたと思うが、計測事業のFY14実績は前年を下回る結果となっている。LTE-Advancedの需要は獲得できているか。

A: LTE-Advancedの需要はしっかり獲得できている。その一方で、モバイルの製造市場での価格低下や建設・保守市場における投資の不透明感がみられ、結果として成長できていない。

【2015年度の見通しについて】

Q: 今期の計測事業は2%成長の750億円を計画しているが、1Qから対前年同期比プラスで想定しているか。

A: 2014年度に、主力のモバイルビジネスで起きた市場構造の変化の影響が現在も続いており、市場環境が好転したわけではない。下期の割合が大きくなると見込んでいる。

【中期経営計画】

Q: GLP2017期間中における戦略投資の内訳と減価償却費の見通しについて知りたい

A: 戦略投資のうちBCP投資は約半分を考えている。BCPとは厚木地区において大規模な震災が発生しても事業が継続できるインフラ構築に向けた投資を指す。

今後の減価償却費は、年間約2億円ずつの増加を見込んでいる。

Q: 計測事業利益体質改善目標のスライドに記載されているオペレーティングモデルはいつ、どのように実現するのか。

A: 高付加価値なソリューションを提供できるような組織作りや業務イノベーションを図り、2020年までに実現を目指す。

Q: 計測事業の2017年度計画の達成に向けた成長機会として3つ取り上げているが、どのような時間軸で捉えているか。

A: 中期計画の前半では、今後いっそうの技術進化が見込めるLTE-Advancedやスモールセルを支える新しい基地局ネットワーク関連の需要を確実に獲得していく。

中期計画の後半には、上記市場に加えて、5G向けの開発需要や、IoT拡大で創造される新しい社会インフラ分野でのカスタマ・エクスペリエンスの獲得で、計画達成を目指す。